

【当院 GLIM 基準で低栄養評価になった患者の特徴から見た GLIM 基準の課題】 に対するご協力をお願い

当院では、下記の臨床研究を実施しております。
研究の対象となる方（または代理人の方）で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題 (研究番号：6)	当院 GLIM 基準で低栄養評価になった患者の特徴から見た GLIM 基準の課題		
研究の対象	西暦 2024 年 8 月 1 日より 2026 年 7 月 31 日までの間に、回復期リハビリテーション病棟および一般病棟にて入院した 18 歳以上の成人患者で GLIM 基準での低栄養評価を行った方		
研究概要（目的・方法等）	目的：当院の成人入院患者について GLIM 基準での低栄養評価を行い、低栄養の人数割合、年齢、低栄養の各項目該当項目を調査し、当院における患者の低栄養該当者の特性を調査し、低栄養判定からみた GLIM 基準の課題を明らかにし適切な栄養評価、栄養管理に活かすことを目的とする。 方法 管理栄養士が入院時に行った GLIM 診断を重度低栄養、中等度低栄養、低栄養非該当に分類したデータ 2 年分を調査する。（2024 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）重度低栄養該当の中で、スクリーニング項目である体重減少、筋肉量減少、疾病炎症、食事摂取量のいずれに関連していたかを調査する。また、年齢、疾病（脳血管疾患・運動器・廃用症候群）との相関があるか調査する。さらに、重度低栄養該当者の退院時栄養状態の改善率、経管栄養、嚥下調整食の該当比率を調査する。		
研究期間	開始	2024 年	8 月 1 日
	終了	2026 年	7 月 31 日
研究に用いる情報の種類	年齢、疾病（脳血管疾患・運動器・廃用症候群）、GLIM 基準低栄養評価、身長、体重、下腿周囲長、疾病炎症（CRP 値）、食事内容、食事摂取量、BMI、褥瘡有無		
外部への情報提供の有無	有 ・ ☒	（提供方法： ）	
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果を論文や学会等で発表する際も、個人を特定できる情報は利用いたしません。		
研究責任者 所属	【金子 裕子】 【東京都リハビリテーション病院 栄養科】		
問い合わせ先	所属	東京都リハビリテーション病院 【栄養科】	
	住所	〒131-0034 東京都墨田区堤通 2-14-1	
	連絡先（電話番号）	03-3616-8600【内線 285 番】	
	担当者氏名	金子 裕子	